

令和7年3月26日
全日本畳事業協同組合
事務局

第41回全日畳中国ブロック会議広島大会

さる2月16日、三原シティーホールに於きまして、広島県畳組合主催による中国ブロック会議が開かれました。中国5県の組合代表者および役員34名が出席して各県の状況報告を共有しました。



開催県広島県畳組合甲斐理事長の挨拶



状況を説明する山口県畳工業組合久保理事長

祝辞を述べる全日畳石河理事長



広島県豊組合西原理事が議長を務め、全日豊石河理事長が組合活動について詳しく説明し、現在の組合がおそらく過去一番事業を実現して結果を出し、多くの会議に出席して主張をさせて頂いていると述べました。また説明の後、出席者から多くの質疑や提案があり、すべて回答いたしました。

全日豊の活動に関する会議は約1時間30分にもおよび、出席者の皆さんの関心の高さがうかがえました。

※議事録を添付いたします。

会議終了後は同会場で懇親会が開かれました。

第41回全日本畳事業協同組合 中国ブロック会議 議事録

作成：広島県 渡邊

2025/2/25

日時 令和7年2月16日

場所 三原シティホテル 広島県三原市城町 2-2-2

出席者 35名（来賓1名 組合員34名） 詳細は会議資料参照

第一部 中国ブロック会議 司会 広島県畳組合 専務理事 石井通史

1. 開会の辞 司会者

2. 開催県理事長挨拶 甲斐靖彦

3. 来賓紹介・祝辞 全日本畳事業協同組合理事長 石河恒夫様

4. 各県理事長による参加者の紹介

5. 議事 議長 広島県畳組合 理事 西原 修

① 各県現状報告 各県理事長より、会議資料に基づいて報告

資料記載内容の補足

山口県畳工業組合 理事長 久保 浩通

従業員賦課金はご夫婦の場合は課金なし 息子さんは課金あり 従業員最大5名まで課金 下紙賦課金は1帖1円で課金

全日畳の年会費が5,000円から8,000円に来年4月から値上げになるが、現状の15,000円では繰越金も3年で無くなりそうなので対応しないといけない。

組合員の脱退を防止するためにも全日畳、県の組合加入メリットを文書化し、組合員に説明したい。全日畳の理事長・各県の方に参考になる意見を伺いたい。

島根県畳事業協同組合 代表理事 田淵 寿馬

組合費36,000円は隠岐の島の組合員です。

一般社団法人島根県建築住宅施策推進協議会への参加目的は、仮設住宅への畳を入れてもらうために、熊本県を参考に畳の部屋を作るという話を進めている。

PL保険の掛金は全額補助しています。

鳥取県畳振興協同組合 代表理事 徳田 浩司

「とっとり住まいる支援事業」について 新築、リフォームで最大100万の補助金が出る。申請は工務店からです。当初その補助金は、鳥取県産の資材を何%使うといくらとか、子育て世帯にいくらとか決められているが、その中に畳は入っていなかった。我々組合が動いて3年前から補助金が出る要件に畳も入れてもらった。

「とっとり匠の技」も補助金で、対象は非住宅（店舗、旅館等）で、1/3程度の補助がでます。こちらも2年ほど前から畳を補助の対象になるように動いた。

質問

行政に、畳が補助金の対象になるような働きかけをしましたか。

回答

まず、担当部署に行きましたが門前払いでした。その後、副知事に直談判しました。補助金の要件に伝統工芸の仕事とあります。その中には建具、左官などがあるが、畳は伝統工芸ではなく工業製品だといわれた。畳も伝統工芸だと説得に2年かかった。畳には縁無、縁有、イ草、工業製品の畳表、また国産かどうかなどいろいろあるが、とりあえず畳という枠で入れてもらった。

「とっとり匠の技」の補助金は実例として、飲食店が自身で県に申請して補助金が出たそうです。

質問

新築物件数について各県の状況

回答

山口県 防府市では物件数はかなり増えている。ただ和室は無い、あっても畳コーナーとして半畳が何枚か、ある程度です。

鳥取県 県の中部地区は過疎化になりかけていて、新築は少ない。西部地区は建てるだけ建てて、造成地はない状況です。補助金を活用すれば一部屋は和室があるが、専門の業者以外の仕事でも補助金の要件を満たすので補助金が出ているが、我々としてはいかなものかと思う

岡山県 物件数はある程度あるが、畳の枚数が少ない。

広島県 池田（材料商）より 弊社の出荷量は前年対比13%減です。全国平均でも14%減のようです。

岡山県：組合員数は最盛期の1/3に減少している。

質問

全日畳への負担金3,000円値上げの各県の対応

回答

山口県 前回の理事会において3,000円値上げして18,000円とし、5月の総会での採決まちです。ただ、組合参加のメリットを明示しないと組合員の賛同は厳しいと思います。

島根県 まだ具体的な話し合いはないが、値上げは厳しい。

鳥取県 まだ決まっていない。

岡山県 一つの案として会費を2,000円値上げしてあと1,000円は組合負担とするが案があるがまだ決まっていない

広島県 6月の総会で3,000円値上げして13,000円にする方向でいる。

質問

組合の法人化のメリット、非法人化のデメリットは？

回答

島根県 メリットとして、共同受注 だが、法人化により年間 20 万円の経費がかかっている。

山口県 数年前に法人化をやめようという議論があったが、補助金（コロナ）、行政に対する信用などを考慮するとメリットのほうが大きい。県中央会から総会、研修旅行などに対して助成金がでる。

広島県 法人化していない。その理由は組合として利益を追求するのではなくて、全日曇からの情報共有を目的としている。デメリットは感じたことはない。市単位で法人化して受注しているところもある。

質問

請求の際の経費、諸経費計上について

回答

古畳処分、畳の切かけ、階上への運搬などは請求している。売り上げ全体に対して何%という諸経費は計上していない。（回答者の判別困難）

休憩

② 全日曇からの各県への回答並びに事業計画

全日本曇事業協同組合 理事長 石河 恒夫 様

資料「ブロック会議の資料」に沿って説明される

1. 曇の価格（新築編・リフォーム編）

二つの出版社が公共工事の概算価格の本を出している。その本に新曇 8,000 円程と書いてあったので、現実の価格と乖離していることを担当者に伝えて価格を改訂してもらった。

資料曇工事1 賃貸住宅等（県営住宅が該当）では新曇 15,800 円です。樹脂、和紙だと 26,700 円です。この数値は各県の担当者が工事見積を出すときに見ています。皆さんが思うほど公共工事の単価は安く設定されていないので安売りはしないで頂きたい。

一例として先日神奈川県公共工事において、建材床・和紙表の曇が 24000 円程で落札になった。

担当者が曇の価格を決める際、公共工事の価格が指標になっているのではないかと思います。国交省の中野大臣と面談した。中野氏は東大卒業後、国交省に入省後、公明党から政界へ進出された。なので、国交省の行政については素人ではない。面談では重層下請け構造の改善を申し入れした。

2. 曇製作特級技能士新設に関する要望書

今年の曇技能試験受験者（1級・2級）39名 それまでは100人程度で推移してきた。

激減の原因はコロナ禍、後継者不足が考えられる。

厚労省（職能協）の決まりで、39 名受験者数だと試験は隔年になる。これからさらに受験者が減少すると 3 年に一度、もっとさらに減少すると不定期開催になる。まずは、特級技能士新設の前に受験者を増やさないといけない。

特級の制度は 20 業種位にある。畳の特級の職務として、1 級技能士のマネジメント（経営管理）を考えている。

3. 全日畳 会員数の推移

全日畳の会員は毎年 100 名あまりの方が退会している。退会理由の大半は廃業です。

何年か先には 1000 人位になるのではないかと覚悟している。

会費は平成 29 年に 3,000 円から 5,000 円に値上げした。当時の会員数は 2,846 名で組合費合計は 1,423 万円だった。現在は 1,859 名なので同程度の水準を確保するには、一人当たり 7,650 円を頂戴することになります。今後、毎年の値上げはできないので、この度 8,000 円とさせていただきました。また、以前は証紙の売り上げを財源にするために、証紙の購入割り当てをお願いしていましたが、それは撤回しました。それは証紙本来の趣旨から逸脱しており、組合の経費は組合員全員で平等に負担することにしたためです。また、会費値上げと組合加入のメリットとは直接関係の無い話であると認識しています。

4. 中野洋昌 国土交通大臣への要望

中野大臣の奥様の父上は畳屋です。2012 年の初当選から畳議員連盟に入っていただいております。総会には毎回出席していただいている。大臣の職務が多忙の中、国交省の大臣室に招かれて行きました。

そこでは、建設業許可の現状について話をしました。内装工事の中に畳工事が入っており、内装工事は畳工事を含め 9 業種ある。その弊害として、現実に（特に関西圏）畳以外の業者が入札すると畳以外で利益を出し、畳の利益を度外視して畳屋さんに発注している。

このことは国交省も認識している。中野大臣にはこれは税金の無駄遣いであり、これを回避するために畳工事を内装工事から独立してもらいたい旨しっかり伝えた。大臣から「精査して回答します」とお返事を頂いた。

内装工事からの独立は 10 年前から議員連盟を通じてお願いしたが、厳しい。しかし、建設工事の種類一覧で内装工事の中に「たたみ工事」とは、採寸、割付け、たたみの製造、加工から敷きこみまで一貫して請け負う工事をいう、と明記されることになり我々は大きい期待した。しかし、現実にはこの文章の効果はない。やはり、内装工事から畳工事が独立しなければ下請けとか、もろもろの問題は解決しない。解決すれば公共工事の単価が上がり、それが一般の単価にも波及するだろうと思います。

今まで国交省が動かなかったのは、国会に法案を提出して承認を得ないといけないか

らで、役人としてはやりたくないのが本音だと思います。そのような状況の中、今の大臣は中野さんなので千載一遇のチャンスだと思います。大臣の強い意向があれば実現の可能性がありますが、畳工事を独立させるには合理的理由、万人が納得してもらえる理由がないといけないので、我々でそれを用意しないといけない。

それに関連して、
松村先生が発起人となって 18 名の大学の先生が「現代・和室の会」を設立され、全日畳も入会している。先生方に「和室とは」と質問を投げかけたところ、ほとんどの先生が「畳が敷いてある部屋」と言われた。畳は和室の構成要素の中でも特別である。そのあたりを国交省に伝えて、畳工事の独立を目指したい。

3 年前にとび工事から解体業から独立した。それは足場が崩れて死傷者の出る事故やアスベスト問題など社会的関心が高く、国交省が動かざるを得なかった。畳工事の独立にもそのような訴求力が必要です。

5. 河野太郎 国務大臣への要望

一般社団法人 日本畳産業協会の顧問でもあり、畳振興議員連盟の副会長を受けていただいている。その議員連盟には 28 名の先生方がおられる。議員連盟の存在があることで省庁の対応も自ずと違い、とても迅速である。
議員連盟の中でも有村先生には特にお世話になっている。先日の t a t a の抽選会にも国会開会日の多忙の中、着物姿で来ていただいた。今年夏の参議院選挙には是非とも、組合員皆様のお力をお借りしたい。

6. B L 資料

衝撃緩和畳が J I S の承認を受け、B L 認証になっている
新畳は、同じ材料であればどの畳屋さんが作っても同じものができる。従って、B L 認証してもらえるのではないと考える。そのための委員会を発足してすでに会合を 2 回開いた。今後 1 年くらいで認証の見込みです。この B L の認証シールは畳製作技能士と、全日畳の品質管理責任者の資格がないと貼れません。
4/1 に山梨で品質管理責任者のセミナーがあり、19 名の参加予定です。
畳の減少の主要原因に、畳の規格がなかったことが大きいと個人的には思います。新築の際、設計士は畳を敬遠する。それは、畳には規格（B L 認証、J I S 承認）がないため、何かあったときに責任が取れないからではないでしょうか。
畳の B L 認証があれば、畳の採用が増えると思います。
この 3 月に鳥取県でもセミナーを予定している。後、富山県でも開催され、これで全国すべての開催となります。

7. その他

PD 会議を 3 年前に立ち上げた。18 名のメンバーが毎月 ZOOM で会議をしている。この 3 月で 2 年の任期が終了するので、50 歳以下の条件はあるが、中国地区からも参加をお願いします。

昨年、組合の定款を変更し、理事会で 1~2 名の理事を推薦できるようにしました。現在、事業委員長の的場さんは理事会の推薦で理事になっていただいた。今年役員改選があります。中小企業等協同組合法により、役員推薦会議を開催しないといけない。今まで各ブロックからの推薦で役員が決められていて、それだとどうしても年齢が上の方ばかりになってしまう。若い方にも理事に入っていただくことが組合活動にプラスになると考えて 2 名の推薦枠を決めた。来月の理事会において、女性の理事を推薦しようと思っています。この方は 1 級技能士と品質管理責任者の有資格者です。

熊本に全国い産業連携協議会という団体がある。この団体は全国い生産団体連合会、全日畳、熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会の 3 団体の連合体です。この団体は農水省の予算で運営している。

活動報告の書類には、例えば、約 7-800 万円をい草の新しい品質改良に使っているなど、畳製造者側からは理解しがたい事柄に予算を使っている。品種改良しても畳の振興にはならない。畳の振興には畳が売れないといけない。畳が売れるために予算を使うべきです。

私はこの団体の副会長でもあるので、活動承認の印鑑を渋々押したが、次年度からは事前に我々の意見を取り入れるよう強く要望した。その結果、全日畳として 400 万円の予算を確保し、畳のパンフレットの作成をしてほぼ出来上がっている。10 万部作成して、そのうち全日畳には 6 万部の配布予定なので、畳店さんに 20 部程度はお届けできる見込みです。

今年の予算の使途について、若い方からスマホ対応の縦型動画作成の依頼があり、100 万円の予算請求をした。これは公募案件なので厳密な審査があるが、全日畳は農水省との関係は良好であり、予算獲得に期待できる。

・関西万博に関連して

8 兆円とも言われているインバウンド事業 東京でミニ畳が 7,500 円で販売され、外人さんが買っている。ホテル、旅館でも店先で販売できそうなものを探している。インバウンドはものすごい産業になっていることを我々も認識しないといけない。

今年になって、農水省から日本の伝統的暮らしとして、い草を使ったものを紹介したいと依頼があり、6/8~6/15 の間で 2 日間、午前・午後の 2 時間でミニ畳、コースターを作ってもらい、い草の良さを PR してほしいとのことだった。6/9 は全日畳の総会があ

りその前後を含め、それ以外でとお願いしている。

- ・公益社団法人 日本将棋連盟の特別対局室に畳の寄贈

特別対局室（東京に 26.5 畳 関西に 23.5 畳）に寄贈した。畳表は早川猛さんと橋口英明さんのひのさらさを使い、畳床はクッション材入りの断熱建材床（J I S の改正で建材床から変更）です。この寄贈により、全日畳に対する信用が格段に上がり、その後 J T B などの上場企業からの協力要請があった。

寄贈額は 8 万円の畳 50 枚で、400 万円相当となっている。各関係団体から寄付等もあり、全日畳の負担は 35 万円くらいです。これは組合の広報宣伝事業になります。あえて特別対局室のみに畳を寄贈したのは、そのほかの部屋の畳と比べてもらうためです。誰が見ても違いは歴然としています。特に、羽生会長は絶賛でした。

- ・映画 「t a t a m i 」

外国映画で、タイトルが「t a t a m i」なのでポスター配布の協力依頼が来て対応した。70 件くらいの畳屋さんに店頭でのポスター掲示などで協力していただいた。

- ・単組の解散により全日畳を退会する人がいる。

個人で入会できるネット会員も一つの対策ではあるが、支部の価値を損ねないようにしないといけない。いろいろな課題があるが、無視できない問題です。

- ・品質証紙の新しいデザイン A 4 サイズ 10 枚組

公共工事に J I S の記号を書くようになっている。各項目を印刷でき、希望者には全日畳で印刷したものを販売もできる。

品質証紙の粘着力対策

粘着力は印刷会社に任せてあり、貼る人が注意をして貼ってほしい。

- ・2/19 経済産業省主催 畳振興についてのセミナー開催に関連して

役所（経済産業省、財務省、文化庁が持ち回りでセミナーを開催）が畳の現状を心配している。振興に向けていろいろなアイデアを出していただいている。今、畳の年間流通量は年間 800 万畳だが、（900 万畳は欠ける）平成初期は約 9,000 万畳だった。内訳は、国産のい草が 150 万、建材表が 150 万、残り 500 万畳が中国産です。まだまだ中国産の需要はある。ただ、畳の減少を理詰めで考察することや、嘆いても仕方がないことです。畳の減少という大きな流れ、マインドの変化は防ぎようがない。様々な補助金等も大きな流れを変えることはできない。現実を受け止め、この状況でも各畳店さんが生活（経営）できるようにしないといけない。

そのためにも経費は請求してください。例えば、採寸費用、納品費用、2 階・3 階への

運搬費用、切り欠けの手数料など。

参考までに今、東京で一番多くされている表替が 16,800 円前後です。

・昨年のブロック会で t a t a の期間延長が要望されましたが、今年 10 日間延長しました。ただ、70 日という開催期間は景品表示法で決められているので変えられない。年々 t a t a のはがきの返信率は今まで 40%程度だったが今年は 5780 枚、約 50%近くになっている。t a t a のキャンペーンの動画配信をし、ポスターもデザイナーを変え一新した。ポスターは A I で制作したそうです。抽選日に商品を発送しました。また、H P にも当選者の昼店を掲載しています。

「品質管理責任者」というアルミ製のプレートを以前全日昼で作成しましたが、要望があれば作ります。

③ 全日昼への質疑応答（提案・要望）

現代和風の会についてももう少し聞きたい

回答

会に入会したというより、会の発起から関わりました。もちろん立ち上げの会にも参加しました。会の目的はユネスコの無形文化財にすることです。全日昼としては関連団体という認識で参加しています。現在主だった活動はしていません。

質問

昼工事価格の雑誌について

回答

（一財）経済調査会から「建設施工単価」、（一財）建設物価調査会から「建設物価」二つから出版されています。

2 社とも全日昼に来られて、実勢価格ではないことを伝え、まともな価格になるように伝えた。

質問

公共工事での昼の分離発注を徹底してもらいたい。

回答

分離発注は私の認識では半分程度の自治体がされている。ただ、昼に限らず細かく分離発注すると担当者の負担（鍵や納期の管理）が増大するので、その辺りは地方自治体で対応が違ってくるのは仕方がない。それよりも、昼工事は内装工事ではないと入札できないようにすることが先です。

現状は、例えば新昼 5,000 円の仕事を県外の昼屋さんに丸投げしているなど多くの問題を

抱えている。

畳工事の独立はもう 10 年以上前から一貫して主張している。私の代表の時にやり遂げたい。

時期開催県 山口県理事長挨拶

正式決定ではないのでは、次回は令和 9 年の開催になるだろうと思います。よろしくお願いいたします。

閉会の辞 広島県副理事長 上野正春

第 2 部 懇親会

会議式次第に沿って進行した。